

横手市議会定例会
市長所信説明

平成30年9月

横手市

第2次横手市総合計画

みんなの力で 未来を拓く 人と地域が^{ひら} ^{かがや} たくましくよこて

基本計画 政策・施策

政策1

【健康福祉】

伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます

【施策 1-1】子育て支援の充実

【施策 1-2】健康な心と体づくりの推進

【施策 1-3】健康でいきいきとした高齢社会の推進

【施策 1-4】障がい者（児）福祉の充実

【施策 1-5】低所得者福祉の充実

【施策 1-6】福祉を支える人材の確保と育成

政策2

【教育文化】

学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます

【施策 2-1】横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実

【施策 2-2】安全で安心して学べる教育環境の整備

【施策 2-3】元気なまちを築く生涯スポーツの促進

【施策 2-4】活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進

【施策 2-5】よこての伝統文化の継承と再発見

政策3

【生活環境】

豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます

【施策 3-1】安心して暮らすことのできるまちづくりの推進

【施策 3-2】美しい自然環境と快適な生活環境の保全

【施策 3-3】災害に強いまちづくりの推進

【施策 3-4】循環型社会の一層の推進

【施策 3-5】エネルギーの地産地消の推進

政策4

【産業振興】

魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります

【施策 4-1】魅力ある農林業の振興

【施策 4-2】活気ある商業の振興

【施策 4-3】活力ある工業の振興

【施策 4-4】観光・物産資源の発掘と発信

【施策 4-5】企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

政策5

【建設交通】

暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます

【施策 5-1】雪国の快適な暮らしの実現

【施策 5-2】快適な移動空間の実現

【施策 5-3】市民が利用しやすい公共交通の充実

【施策 5-4】地域拠点整備による市街地の活性化

【施策 5-5】安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理

【施策 5-6】市民がくつろげる公共空間の整備

政策6

【市民協働】

やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます

【施策 6-1】市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実

【施策 6-2】男女が尊重し合う社会づくり

【施策 6-3】情報を共有する環境の整備

【施策 6-4】市内外との交流連携の推進

政策7

【行政経営】

横手を思い、市民の思いを実現させる創造的な行政経営を進めます

【施策 7-1】市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立

【施策 7-2】財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進

【施策 7-3】戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実

目 次

1. はじめに	2
2. 平成30年度事業等の進捗状況について	5
(1) 普通交付税について	5
(2) 横手市増田まんが美術館について.....	5
(3) 横手市歴史的風致維持向上計画の認定について	7
(4) 横手第二工業団地への企業進出について.....	8
(5) 横手駅東口市街地再開発事業について.....	9
(6) 市営住宅の指定管理者制度の導入について.....	10
(7) 第三セクターの清算状況について	11
(8) 十文字地域多目的総合施設及び雄物川庁舎整備事業について	12
3. 補正予算について	13
4. おわりに	13
※行政一般報告編	15

平成30年9月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の重要課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. はじめに

初めに、平成30年工業統計調査等において、市職員による不祥事が発生いたしましたことにつきまして、ご迷惑をおかけいたしました事業所の皆様並びに市民の皆様、議会の皆様に深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

私は常日頃より、職員に対し、公務員としての自覚を促すとともに、コンプライアンス意識の向上やチェック体制の強化を図ってきたところでございますが、この度の件は誠に遺憾であり、厳正に対処してまいります。

今後につきましては、再発防止策や職員の服務規律の徹底を図り、市民の皆様の信頼回復に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、今年6月以降、日本国内において断続的に発生した大規模地震や集中豪雨、また、異常とも言える猛暑は、各地に深い爪痕を残しました。

特に、7月上旬に西日本を襲った集中豪雨は、広島市など124地点において観測史上最多の降水量となり、堤防決壊による家屋の流失や大規模な土砂崩れなど、広島県や岡山県を中心に、平成に入って最悪の大雨被害をもたらしました。死者・行方不明者は200人以上に上り、現在も3,000人以上の皆様が避難生活を余儀なくされていると伺っております。

あらためて、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、被災地の復興をお祈り申し上げます。

当市においては昨年の夏、大森地域を中心に大雨災害に見舞われており、この度の豪雨災害を踏まえて、改めて対応スキーム等チェックするとともに、秋田地方気象台からの気象情報を始め、国、県からの河川やダム、土砂災害の警戒情報に関しましても確実に取得し、事前共有することを関係機関と確認いたしました。

また、今年6月には、大阪北部において、震度6弱の地震により小学校のブロック塀が倒壊し、幼い命が奪われるという痛ましい事故が発生いたしました。当市では早速、塀やフェンス、看板等を含む公共施設全体の一斉点検を行い、早急な対応が必要と判断した3施設のうち1施設の塀については同月中に撤去し、残り2施設については補強工事の手続きを進めております。

更に、7月に入ってから、異常な暑さが日本列島を襲い、当市

においても、同月の平均気温が統計開始以来の最高を記録したところであり、7月1日以降の熱中症とみられる救急搬送者数は計51人に上っております。厳しい暑さは8月以降も続くことが予想されたことから、市では、夏祭りやイベント関係者の皆様に熱中症対策に万全を期すよう呼びかけたほか、市のホームページやかまくらFMを活用し、広く市民の皆様に注意を促しております。

気象庁では、7月の豪雨や猛暑に関し“30年に1度よりも発生確率が低いレベルの異常気象”と位置付けました。しかしながら、自然災害や異常気象は、規模の大小はあるものの毎年、繰り返されている現状があります。

この度の西日本豪雨災害では、常日頃からの地域の備えや支え合う具体的な仕組みづくり、過去の教訓を地域で共有することなどにより、被害が最小限に抑えられた事例も多いと伺いました。私自身も、地域住民の皆様一人ひとりが、自然災害が起こり得ることを常に意識すること、また、自治会等の単位ごとに共助の取り組みを進めることこそが、災害被害を低減させる“減災”に繋がるものと認識しております。

今後も、横手市防災マップを積極的に活用しながら、地域の皆様とともに地域防災力の向上に向けた取り組みを推進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

2. 平成30年度事業等の進捗状況について

(1) 普通交付税について

平成30年度の普通交付税が決定され、臨時財政対策債を加えた実質的な総額は、昨年度比5億7,051万8千円減額の202億9,809万6千円で、率にして2.7パーセントの減となりました。

このうち、普通交付税については、昨年度比5億964万3千円減額の189億567万9千円で2.6パーセントの減、臨時財政対策債の発行可能額は、昨年度比6,087万5千円減額の13億9,241万7千円で、4.2パーセントの減となっております。

今年度の普通交付税は、合併算定替特例による段階的縮減が3年目となり、特例による加算相当額約22億5千万円の5割に当たる11億2千万円ほどが減額されております。

合併特例加算が終了となる3年後の2021年度に向け、今後も、行政評価制度の推進や財産経営推進計画、財政計画の適切な進行管理に努め、必要な財源の確保を図ってまいります。

(2) 横手市増田まんが美術館について

横手市増田まんが美術館の大規模改修工事につきましては、昨年度に着手いたしました展示工事の進捗率が現時点で55%、今年

5月着工の外装・外構工事については33%となっており、当初の予定どおり11月末には完了する見込みであります。

来年5月1日のグランドオープンに向けては、集客効果の最大化を図るべく、今春より“PR戦略”策定のためのマーケティング調査を実施したところであり、その結果に基づき、美術館自体の認知度アップを目指す集中的な事前PRを展開することといたしました。

オープン後に取り組むべき施策を含む総体的な“PR戦略”につきましては、様々な調査データをもとに今年度中に策定することとしており、今後も、漫画家の皆様や関係団体の皆様と一丸となって、「横手市マンガ活用構想」の具現化を図ってまいります。

なお、リニューアル後の美術館は、マンガに特化した専門施設に生まれ変わります。その管理運営については、高い専門性と継続性が求められるとともに、これまで培ってきた漫画家の皆様や出版社との関係性を更に発展させ、世界の貴重な財産を次の世代に確実に引き継ぐ、重要な役割を担うこととなります。

このようなことを踏まえ市では、美術館の管理運営に指定管理者制度を導入することとし、この7月には、横手市指定管理者選定委員会において様々な角度から審査いただき、「一般財団法人横手市増田まんが美術財団」を指定管理者候補者として選定した旨の答申が示されたところであります。

その後、市において、財団設立の趣旨やこれまでの活動実績、将来的な収支計画の妥当性などについて検討した結果、適切な施設の管理運営が期待できるものと判断し、当該財団を指定管理者候補者として選定いたしました。

今定例会において議決いただいた場合は、速やかに具体的な手続きに着手し、来年4月の指定管理者制度の導入を目指してまいります。

(3)横手市歴史的風致維持向上計画の認定について

去る7月11日、横手市歴史的風致維持向上計画が国から認定されました。当日は、国土交通省の本省において認定式が行われ、文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣の主務大臣連名の認定証が交付されました。

歴史的風致維持向上計画についてはこれまで、金沢市や岐阜県高山市など全国66市町が認定されておりましたが、今回、静岡県伊豆の国^{いずくに}と横手市が加わったことにより、認定都市は計68市町となりました。秋田県内では平成29年3月の大館市に続く2番目、東北では9番目の認定となっております。

今後は、地域に残る歴史的・文化的資源を保存・活用しながら、歴史的風致の認識度向上のためのシンポジウムの開催や、歴史的風

致を結ぶ「まちなか回遊性」を向上させる取り組みなどを展開し、着実な計画の推進を図ってまいります。

(4)横手第二工業団地への企業進出について

自動車部品等製造業の株式会社アスターが7月23日、横手第二工業団地内において、電気モーターを高効率化する新型コイル製造工場の建設に着手いたしました。同社では、来年8月から試験操業を行いながら、今後3年間のうちに工場2棟、社屋1棟を新設し、新型コイルの量産化を目指すこととしており、成長が見込まれる自動車や航空機、ロボットなど幅広い分野での活用が期待されるところであります。

また、これに合わせ、秋田化学工業株式会社が、アスター敷地内に同社と排水処理施設を共有する形で進出いたします。来月には、延べ床面積約500平方メートルの工場建設に着手し、来年7月の本格稼働を目指していると同社であります。

秋田化学工業の「カチオン電着」と呼ばれる防さび電着塗装の手法は、複雑な形状の部品を含めて、短時間で大量の塗装処理を可能とする県内初の技術となります。県内に不足している塗装技術を同社が提供することで、これまで、県外業者などに外注していた塗装工程が市内でも可能となり、市内の自動車関連企業の皆様におかれ

ましても、輸送コストの削減や納入期間の短縮が図られ、競争力が格段に高まるものと期待しております。

トヨタ自動車株式会社の東北への生産機能集約化の流れもある中、市といたしましては、今後も両社の事業が順調に進むよう支援するとともに、自動車関連企業が集積している当市の強みを生かし、更なる企業進出に繋げてまいりたいと考えております。

(5)横手駅東口市街地再開発事業について

J R横手駅東口地区につきましては、この4月に、建設部内に「まちなか再生推進室」を新設し、地域の皆様とともに新たな再開発の方向性等に関する検討作業を進めております。

再開発事業を実施するためには、国の交付金事業を活用することが大前提となりますが、4月以降、国や県などの関係機関と協議を重ねており、制度的な条件については十分、クリアできるものと判断しているところであります。

また、再開発に関する要望書を提出した発起人会においては、事業予定地区内の権利者の皆様の意向確認調査を実施しており、事業化に対する反対意見は提案されていない状況と伺っております。

去る7月19日には、発起人会により、地区内権利者を対象として、再開発事業の仕組みや組織づくり等に関する第1回勉強会が

開催されております。また、8月2日には、市を含む地区内権利者等で構成する「横手駅東口第二地区まちづくり研究会」が立ち上がり、土地の高度利用や有効活用を図りながら、地域全体の“にぎわいの創出”を目指す本格的な取り組みが開始されました。

空洞化が進む駅東口エリアの再生や市の玄関口としての顔づくりにつきまして、私は、市民の皆様と行政の共通の重要課題であり、その解消に向けては当然、市が関与すべきものであると認識しております。

今後、事業化の判断材料となる概算事業費や、市が整備する公共施設の機能等について概要を提示させていただき、市民の皆様、議会の皆様と意見交換を重ねながら、具体的なプランを作り上げてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

(6)市営住宅の指定管理者制度の導入について

来年度からの指定管理者制度の導入を目指し、手続きを進めておりました市営住宅（計43団地）の管理につきましては、朝日綜合株式会社、朝日レジデンシャル株式会社、株式会社ホームクリニックの三者で構成される共同事業体から応募があり、横手市指定管理者選定委員会で審査いただいたところ、当該共同事業体を指定管理者候補者として選定した旨の答申が示されました。

これを受け市では、住宅入居者の皆様や今後、入居を希望される皆様への公正・公平なサービスの提供はもとより、個人情報保護の確実性、収支計画の妥当性等、様々な観点から検討した結果、適切な管理運営が期待できるものと判断し、当該共同事業体を指定管理者候補者として選定したところであります。

今定例会において議決いただいた場合は、速やかに具体的な手続きに着手し、来年4月の制度導入に万全を期してまいります。

(7) 第三セクターの清算状況について

本年3月31日をもって解散いたしました市出資法人「株式会社山内観光振興公社」並びに「株式会社増田町物産流通センター」の清算状況をご報告いたします。

山内観光振興公社におきましては、市貸付金に対する償還残額2,768万円のうち約596万円の返済ができない状況となっております。そのため、今定例会に債権の一部を放棄する議案を上程させていただきましたので、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

また、増田町物産流通センターにおきましては、清算に対する補助金として2,000万円を交付しておりましたが、最終的な執行額が500万円を下回る見込みとなったことにより、7月末に概算

金額として1,500万円が市に返還されました。

両法人ともに債務整理が終わり次第、株主総会を開催し、10月から11月頃には全ての清算業務が完了する予定となっております。

(8)十文字地域多目的総合施設及び雄物川庁舎整備事業について

2020年秋の完成に向け、今年度より進めております十文字地域多目的総合施設及び雄物川庁舎の建設につきましては、先般、実施いたしました設計候補者選定プロポーザルに、それぞれ3共同企業体と4共同企業体より応募があり、事業ごとに選定された各共同企業体と設計業務委託契約を結び、現在は、基本設計を行っているところであります。

また、両施設に導入を予定しております地中熱利用の冷暖房設備に関しましては、採熱調査に要する費用の全額が、国庫補助金にて充当されることが決定されました。

今後は、当該調査業務とともに、建設予定地の地質調査業務等も同時に進めながら、来年度の工事着手に向け準備を整えてまいります。

3. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

今回の補正は、畜産競争力強化対策整備事業、財政調整基金積立金、公共施設等総合管理推進基金積立金などが主な内容となっております。

補正額は、10億54万円の増額で、補正後の歳入歳出予算総額は、549億7,100万円であります。主な事業と事業費を申し上げますと、

◎ 増田まんが美術館費	889万1千円
◎ 児童扶養手当給付費	906万4千円
◎ 畜産競争力強化対策整備事業	3,450万円
◎ 農業生産基盤整備事業	1,928万4千円
◎ 財政調整基金積立金	7億5,314万円
◎ 公共施設等総合管理推進基金積立金	1億5,061万2千円

などであります。

4. おわりに

今議会に提案しております案件については、諮問案件2件、専決処分報告案件1件、継続費清算報告書の報告案件1件、条例一部改

正案件 6 件、その他の案件 6 件、平成 3 0 年度一般会計補正予算案
など補正議案 4 件、平成 2 9 年度一般会計歳入歳出決算など決算認
定 2 2 件の合計 4 2 件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、
所信説明といたします。

行政一般報告編

～ 6月議会定例会以降の行事等について ～

平成30年6月議会定例会以降の行政一般報告

目 次

(1)2018 サタデー・イングリッシュ.....	17
(2)夏休み子ども教室.....	17
(3)成人式.....	17
(4)市民スポーツ交流大会(グラウンド・ゴルフ).....	18
(5)横手わか杉カップ.....	18
(6)増田盆おどり大会.....	18
(7)全日本元祖たらいこぎ選手権大会.....	18
(8)あやめまつり.....	19
(9)あやめ杯民謡大会.....	19
(10)雄物川駅伝競走大会.....	19
(11)おもフェス・おもしえす2018.....	20
(12)牡蠣まつり.....	20
(13)ははは祭.....	20
(14)関東地区大森町ふるさと会.....	20
(15)第49回田楽灯ろうコンクール.....	21
(16)第46回十文字さくらんぼまつり.....	21
(17)首都圏十文字会.....	21
(18)第40回猩々まつり.....	22
(19)山内地域観光わらび園.....	22
(20)夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃).....	22
(21)大松川ダム公園芝桜関連事業.....	23
(22)横手市交通死亡事故ゼロ1,500日達成 大雄地域表彰式.....	23
(23)2018大雄サマーフェスティバル.....	23
(24)ちびっこわくわくフェスティバル.....	24
(25)第1回保育実践力向上研修会.....	24
(26)実験農場フィールドデー.....	24
(27)第15回よこての全国線香花火大会.....	25
(28)横手送り盆まつり.....	25

平成30年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (生涯学習課)	<p>(1)2018 サタデー・イングリッシュ</p> <p>7月14日、浅舞公民館において2018サタデー・イングリッシュを開催しました。</p> <p>市内小学校3、4年生を対象に、英語に親しみ身近な言葉として感じてもらふことを目的とし、今年度3回開催の1回目として32人が参加しました。</p> <p>講師役を横手市教育委員会の ALT4人が務め、参加した子どもたちは緊張した面持ちでしたが、時間が経つにつれて打ち解けあい、小さかった声も徐々に大きくなり、最後はしっかり協力しながら楽しい時間を過ごしました。</p>
まちづくり推進部 (生涯学習課)	<p>(2)夏休み子ども教室</p> <p>小学校夏季休業中の10日間、地域ぐるみで子どもを育み、健全育成を図ることを目的に、夏休み子ども教室を開設しました。今年度は新たに5教室増やし、市内15カ所で開催しております。</p> <p>これは、地域住民の皆様や地元企業などの協力を得て、子どもたちに学習や体験活動の場を提供するものです。</p> <p>今年も各教室でコーディネーターや教育活動推進員、学習支援員の他、体験活動の講師として広く地域住民の皆様に参加していただきました。</p> <p>各教室では趣向を凝らした様々な活動が行われ、参加した子どもたちは学校や家庭で体験できない時間を過ごしました。</p>
まちづくり推進部 (生涯学習課)	<p>(3)成人式</p> <p>8月15日、横手市民会館において横手市成人式を開催しました。</p> <p>今回の対象者は、平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方965人です。</p> <p>式典は、新成人が司会を務め、代表者が力強く新成人宣言を述べました。終了後は、実行委員が企画したアトラクションも行われ、参加者は大いに盛り上がり、笑顔で旧交を温め合っていました。</p>

平成30年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 スポーツ振興課	<p>(4)市民スポーツ交流大会(グラウンド・ゴルフ)</p> <p>6月20日、赤坂総合公園グラウンド・ゴルフ場を会場に、横手市スポーツ推進委員会が運営主体となり、スポーツを通じて市民の健康増進と親睦を図ることを目的に開催されました。</p> <p>当日は約240人の参加者が、グラウンド・ゴルフのプレーを通じて、プレーヤー相互の親睦と交流を深めました。</p>
まちづくり推進部 スポーツ振興課	<p>(5)横手わか杉カップ</p> <p>今年で11回目となる「横手わか杉カップ」が7月14日から16日までの3日間、雄物川体育館で開催されました。全国の高校男子バレーボール界を牽引する強豪校8校が参加し、7月26日から三重県で開催されるインターハイの前哨戦として、熱い戦いが繰り広げられました。</p> <p>今年は、広島県の崇徳高等学校が、丁寧なレシーブからのコンビバレーを生かして優勝し、地元の雄物川高等学校は第3位となりました。3日間で延べ約2,000人の観客数となり、訪れた市民の皆様やバレーボールファンに多くの感動を与えました。</p>
まちづくり推進部 (増田地域局)	<p>(6)増田盆おどり大会</p> <p>8月15日、(社)増田町観光協会の主催により、中・七日町通り及び本町通りを会場に「増田盆おどり大会」が開催されました。</p> <p>当日はお囃子が町内に鳴り響くと、保育園児から大人まで多くの踊り手が次々と集まり、伝統的な建造物とかがり火のもと、幻想的で優雅な踊りが披露され、観覧者を魅了しました。</p>
まちづくり推進部 (増田地域局)	<p>(7)全日本元祖たらいこぎ選手権大会</p> <p>地元の若手商店主が中心となった実行委員会の主催による「第32回全日本元祖たらいこぎ選手権大会」が、8月16日に真人公園の沢口沼で開催されました。</p> <p>すっかり夏の風物詩として定着したこの大会には県外も含む他市町村から多くの選手が参加し、たらいの漕ぎ方を地元選手から習ったり、臨時に出展された物産品を買い求めたりと、競技以外の場での交流も深め、横手市の魅力を堪能していました。</p>

平成30年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	<p>(8)あやめまつり</p> <p>第37回浅舞公園あやめまつりが、6月23日から7月1日までの9日間にわたり開催されました。今年は6月から好天が続いたことで、まつり当初から花が見頃を迎え、多くの来場者で賑わいました。</p> <p>期間中は、一夜限りのライトアップショーやよさこいソーラン踊りなどの様々なイベントに加え、今年新たにJR東日本横手駅との共催によりミニSL乗車体験や記念撮影会の開催、JR東日本秋田支社によるJR臨時列車「秋田駅長号」が運行され、例年以上に盛り上がりました。</p> <p>また、地元商工業者によるテント村を設置しまつりを盛り上げたほか、地場産の食材を使用した「ままけえ弁当」を販売し大変好評をいただきました。</p> <p>期間中はボランティアスタッフとして、県立衛生看護学院、平成高等学校、平鹿中学校の生徒108人にサポートしていただき、天候に恵まれたこともあり、昨年より多い67,000人が会場を訪れました。</p> <p>この他、あやめまつり開催前に浅舞公園周辺道路のクリーンアップが実施され、地域住民の皆様や各団体から103人の方々に参加していただきました。イベントを通じて地域の環境美化活動に市民の皆様に参加していただく協働の取り組みも行われております。</p>
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	<p>(9)あやめ杯民謡大会</p> <p>第28回あやめ杯民謡大会が7月16日、平鹿生涯学習センターを会場に開催され、県内外から3部門に80人が参加し自慢ののどを競い合いました。</p> <p>審査の結果、一般の部は岩手県宮古市の山崎ゆうかさん、熟年の部は秋田市の川辺節子さん、年少の部は東成瀬村の谷藤翔太さんがそれぞれ最優秀賞を受賞しました。</p> <p>会場を訪れた400人の民謡ファンは、何世代にもわたって歌い継がれて来た伝統的な歌を熱心に聴き入っていました。</p>
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	<p>(10)雄物川駅伝競走大会</p> <p>6月24日、雄物川河川公園をメイン会場に、「第47回雄物川駅伝競走大会」を開催しました。一般23チームと、横手明峰中学校陸上部5チームが参加し、全長13.1kmのコースで襷をつなぎました。</p> <p>初出場の「横手火脚隊」が1位でゴールし、素晴らしい走りを見せてくれました。</p>

平成30年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	<p>(11)おもフェス・おもしえす2018</p> <p>7月16日、雄物川中央公園において「おもフェス・おもしえす2018 Jamaican Music Festival」が開催されました。</p> <p>地域の若者が実行委員となり、地域を元気にすることを目的として開催したもので、今年で4回目。東北でも珍しいスカ・レゲエに特化したイベントで、雄物川高校生によるボランティアの協力もあり、昨年を上回る、約5,500人の来場者で賑わいました。</p>
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	<p>(12)牡蠣まつり</p> <p>7月22日、海と山との直売所交流事業として「牡蠣まつり」を開催しました。この事業は、にかほ陣屋とほほえみ直売所がタイアップした海産物フェアで、今年で5年目。雄川荘を会場に、新鮮な海の幸が内陸の雄物川町で味わえることから大好評でした。また、にかほ陣屋ではスイカを販売し、お互いの特産品をPRしました。</p>
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	<p>(13)ははは祭</p> <p>平成8年8月8日に、は・は・はの語呂合わせからはじまり、笑顔の町雄物川の真夏の熱い祭りとして23回目を迎えた「ははは祭」が、8月8日今宿商店街で開催されました。</p> <p>歩行者天国の会場では、雄物川高等学校吹奏楽部の演奏やよさこいソーラン、多数のアーティスト達によるライブなどに加え、ご当地グルメの夜店やフリーマーケットなどが祭りを盛り上げ、約6,000人の人出で賑わいました。</p>
まちづくり推進部 (大森地域局)	<p>(14)関東地区大森町ふるさと会</p> <p>7月29日、第35回関東地区大森町ふるさと会総会並びに懇親会が上野精養軒(東京都台東区)で開催され、会員や来賓など約130人が参加し交流を深めました。</p> <p>懇親会では、大森地域の災害復旧状況などが報告され、会員からは安堵する声が聞かれました。また、アトラクションでは八沢木獅子舞と国錦耕次郎(大森町出身)による相撲甚句が披露され、最後は恒例の「故郷」の大合唱で締めくくり、次回の再会を誓い合いました。</p> <p>会場内では、2年振りに特産品の販売が行われ、多くの方々が「大森産ブドウのワイン」や懐かしいふるさと産品を購入されていました。</p>

平成30年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (大森地域局)	<p>(15)第49回田楽灯ろうコンクール</p> <p>7月19日、第49回田楽灯ろうコンクールが、大町通りで開催されました。この日のために頑張って描いた手作り灯ろうを持った子ども達90人は、地元中学生が作成した大型灯ろうを先頭に、灯ろうの光で町並みを照らしながら町内を練り歩きました。</p> <p>今年も「おおもり夏祭り」が同時開催され、参加した400人は屋台やゲームコーナーで楽しみ、手品ショーや打上げ花火で大いに盛り上がり、幻想的な夏の伝統行事を楽しみました。</p>
まちづくり推進部 (十文字地域局)	<p>(16)第46回十文字さくらんぼまつり</p> <p>「第46回十文字さくらんぼまつり」が6月15日から7月16日まで、十文字地域のさくらんぼ樹園地を会場に開催されました。</p> <p>県内外からまつりに来られた観光客は、たわわに実ったさくらんぼをほおぼり「甘くておいしい」と言いながらさくらんぼ狩りを楽しんでいました。</p> <p>また、期間中は「第35回さくらんぼ杯争奪東北将棋大会」、「第23回さくらんぼタネ飛ばし大会」が開催されました。</p> <p>「さくらんぼタネ飛ばし大会」には県内外から124人の参加をいただき、親子での入賞を果たすなど大変盛り上がった大会となりました。</p>
まちづくり推進部 (十文字地域局)	<p>(17)首都圏十文字会</p> <p>7月7日、東京都台東区の浅草ビューホテルを会場に「第33回首都圏十文字会総会」が開催され、地元からの参加者を含め168人の参加により大変にぎわった総会となりました。</p> <p>今年度は首都圏十文字会役員の方がマネジメントされている歌手の「笹みどり」さんによる歌謡ショーの開催や恒例となっている道の駅十文字による物産コーナーも、地元産品を買い求める会員に大変好評でした。</p> <p>これまで地元とのパイプ役を担ってくださっていた「地域づくり協議会」が終了してから初めての総会開催となりましたが、今後も首都圏十文字会との連携を継続し、ふるさとの情報提供と会員相互の親睦交流に努めていきます。</p>

平成30年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (十文字地域局)	<p>(18)第40回猩々まつり</p> <p>その昔旅人の道標として建立され、十文字発展の礎となった猩々様の像にちなんだ「第40回猩々まつり」が、7月21日に十字の里を会場として開催されました。</p> <p>当日は、「十文字中学校吹奏楽部の演奏」を皮切りに、地元の園児による「よさこい演舞」や「猩々桜恋歌よさこい演舞」、「ものまね新女王！！MIHO-KO」、「民謡日本一共演」が披露され、猩々おどりでは大人から子供まで参加していただき、訪れた約6,000人の方々に大いに楽しんでいただきました。</p> <p>また、地元産のスイカ・メロンの試食、地酒の試飲、恒例のお楽しみ抽選会、麺&お菓子まきもあり、今年も様々な趣向を凝らした熱気のあるまつりとなりました。</p>
まちづくり推進部 (山内地域局)	<p>(19)山内地域観光わらび園</p> <p>山内黒沢、三又両地区にある観光わらび園が、両園とも5月27日に開園し、営業日の日曜と水曜の午前中に多くの人を訪れ、山内のわらび狩りを満喫されました。</p> <p>入園者数は、「黒沢わらび園」が173人、「三又わらび園」が219人で、7月31日、好評のうちに今年度の営業を終了しています。</p> <p>特に、市外からのお客様には大変喜ばれ、希望者にはわらびのアク抜き配送サービスも実施し、好評を得たところです。</p> <p>秋には、栽培を希望する農家にわらび根を配布して、栽培わらびの作付けを推進していく予定です。このような活動を通じて、地域特産品の生産拡大と地域活性化を図ってまいります。</p>
まちづくり推進部 (山内地域局)	<p>(20)夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃)</p> <p>8月5日早朝、地域内の国道や県道、幹線道路沿線及び河川において、地域住民総出による「夏のクリーンアップ」を実施しました。</p> <p>これは、環境美化に対する意識の高揚を図るため、4月の春のクリーンアップに続き実施したものです。</p> <p>当日は、1,018人の市民の皆様に参加していただき、燃やすごみ690kg、燃やさないごみ40kgが集められました。</p> <p>今後も、地域の環境をより良くするための活動を継続してまいります。</p>

平成30年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (山内地域局)	<p>(21)大松川ダム公園芝桜関連事業</p> <p>6月2、3の両日、大松川ダム公園を会場に「2018さんない芝桜まつり」が行われました。山内の豊かな自然と多彩なイベントにより、晴天にも恵まれ、2日間で9,700人の来場者があり、会場は大いに盛り上がりました。</p> <p>また、平成19年度から「さんない芝桜事業推進会議」と協働で行ってきました芝桜園再生を目標とした管理育成が今年も行われております。参加者の高齢化などにより、従来の除草活動を維持するのは難しくなっておりますが、管理計画の見直しや規模を縮小しての活動を継続してまいります。</p>
まちづくり推進部 (大雄地域局)	<p>(22)横手市交通死亡事故ゼロ1,500日達成 大雄地域表彰式</p> <p>7月10日、大雄庁舎において大雄地域交通死亡事故ゼロ1,500日達成を祝い表彰式が行われ、地域を代表し日頃から交通安全活動に尽力されている横手市大雄地域交通安全対策協議会が表彰されました。</p> <p>今後も交通死亡事故ゼロ2,000日、3,000日をめざし交通安全活動に取り組んでいくことを誓いました。</p>
まちづくり推進部 (大雄地域局)	<p>(23)2018大雄サマーフェスティバル</p> <p>今年で32回目となる「大雄サマーフェスティバル」を、7月28日、楽天イーグルススタジアム大雄駐車場内を会場に開催しました。</p> <p>このイベントは、地域活性化のために市町村合併以前から実施しているもので、商工会青年部を中心とした実行委員会を組織し、運営しているものです。今年は約15,000の方々にご来場いただきました。</p> <p>当日は、「たいゆう保育園児の踊り&太鼓披露」を皮切りに、ご当地特産品ホップを使用したゲームや、子供たちに人気の「カブトムシ木登りレース」、毎年恒例のキリンドラフトカーによる「ビアガーデン」などを行ったほか、「なごり雪」で知られるイルカさんのミニライブで会場は大いに盛り上がりました。</p> <p>フィナーレでは、約800発の迫力満点の花火を打ち上げ、大雄の熱い夏を満喫していただきました。</p>

平成30年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
健康福祉部 (子育て支援課)	<p>(24)ちびっこわくわくフェスティバル</p> <p>6月30日、横手市交流センター／Y2 ぷらざ1階オープンスペースにおいて、市内の子育てサークル等が主体となり、「ちびっこわくわくフェスティバル」が開催されました。</p> <p>当日は496人の親子が来場し、楽しい工作コーナー、絵本の読み聞かせ、短冊を書いたりして楽しみました。</p>
健康福祉部 (子育て支援課)	<p>(25)第1回保育実践力向上研修会</p> <p>6月16日、条里南庁舎を会場に、学校教育課と子育て支援課の共催による「第1回保育実践力向上研修会」を開催しました。</p> <p>保育士などの保育力向上を図ることを目的として、保育所保育指針等の改定を踏まえた実践の在り方について、聖園学園短期大学准教授の蛭田一美(ひとみ)氏による講義とグループ演習を実施しました。</p> <p>当日は、保育所、認定こども園などから107人の参加があり、指針がどのように実践に結び付くか、自らの保育を振り返るとともに、子ども理解の重要性や保育者との関わり方などを改めて考えました。</p> <p>子どもの「主体性」を考え、“指針を保育のよりどころ”にすることで自分の保育を見直す研修になったと好評でした。</p>
農林部 (実験農場)	<p>(26)実験農場フィールドデー</p> <p>8月3日、横手市実験農場において、実験農場の取り組みを広くPRすることと、市民の皆様には横手の食と農を感じていただくことを目的に、実験農場フィールドデーを開催しました。</p> <p>実験農場特任講師の明治大学農学部・元木悟先生などによるセミナー「もっと野菜を作ってみよう！」や実験農場研修生による研修成果発表のほか、トウモロコシの収穫体験及び試食、横手産野菜を使った料理の試食などを行いました。</p> <p>フィールドデーには、延べ220人の市民の皆様にご来場いただき、横手市実験農場や横手の食と農について、理解を深めて頂きました。</p>

平成30年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
商工観光部 （観光おもてなし課）	<p>(27)第15回よこての全国線香花火大会</p> <p>7月21日、国産花火を楽しみながら故郷を思う気持ちを育み、日本の貴重な文化を体験してもらおうと、横手川蛇の崎川原において実行委員会主催の「第15回よこての全国線香花火大会」が開催されました。</p> <p>日中からの暑さに熱中症の心配などもされましたが、夕方になると風も出始めベストコンディションで大会がスタートしました。</p> <p>当日は、高校生をはじめとした約180人のボランティアがスタッフとともに汗を流してくれました。</p> <p>浴衣姿の小中高生や親子連れを中心に、およそ7千人の方が会場を訪れ、線香花火の持続時間を競う大会や、大会提供の迫力あるおもちゃ花火の打ち上げなど、夏の夜のにぎわいを体感しました。</p>
商工観光部 （観光おもてなし課）	<p>(28)横手送り盆まつり</p> <p>お盆の伝統行事、横手地域の「送り盆まつり」が、8月6日の「ねむり流し」を皮切りに、15日には市民盆踊りと屋形舟鑑賞会、16日には屋形舟繰り出しが行われました。</p> <p>ねむり流しには22団体が参加し、子供たちの願いを書いた短冊を飾った小舟が蛇の崎川原に繰り出しました。15、16日は、両日とも降雨の影響を受け、一部日程を変更しての開催となりました。市民盆踊りには、25団体、約1,000人の踊り手が参加、お囃子にあわせて踊りを楽しんだほか、屋形舟繰り出しでは、14町内の舟が蛇の崎橋の上で威勢よくぶつかり合い、夏の夜空を彩った約2,000発の花火とともに来場者を魅了しました。15、16日の来場者数は、延べ68,000人となりました。</p>